

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 坂口 SL 犬飼 T (一般)

2. 山城/ルート 芦生の森 (京都北山)

3. 交通手段 車

4. 行動記録

<入山日 2015年7月4日。 下山日 2015年7月5日>

第1日 曇りのち雨

事務所ー落合橋ー横山峠ー権蔵谷出合ーP788ー権蔵谷出合・坂谷出合間ビバーク

第2日 曇り

権蔵谷出合・坂谷出合間ー横山峠ー落合橋ー事務所ー廃村灰野ー事務所

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由道迷い。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

権蔵谷出合を100m程過ぎて道が分からなくなった。ヤマレコでは更に沢筋を歩いていることは分かっていたが踏み跡が見つからず、沢浴いよりも稜線を歩こうと3人で話し合った。頂上に辿り着けば稜線歩きで経路地の杉尾峠に着けると考えた。頂上に着いてからも2度ルートを間違ったので、遭難を避けるために来た道を引き返した。藪漕ぎの途中から来たルートを外れていることをGPSで確認したが、そのまま下れると考えて権蔵谷出合・坂谷出合間に下りビバーク。

急斜面の草付きを下り、難しい場面ではロープを出してごぼう登りの要領で下りた。

今回、会の山行に幾度も参加している一般の人もいたので、お助け紐を要らないと言われても出すべきだった。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

GPSを持っていたが、電池の残量が少なかったので殆ど off の状態で山行した。予備電池の携行と操作方法を熟知すること。

地形図とコンパスを活用していたが、もっとこまめに活用し道に迷ったら早めに引き返す。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

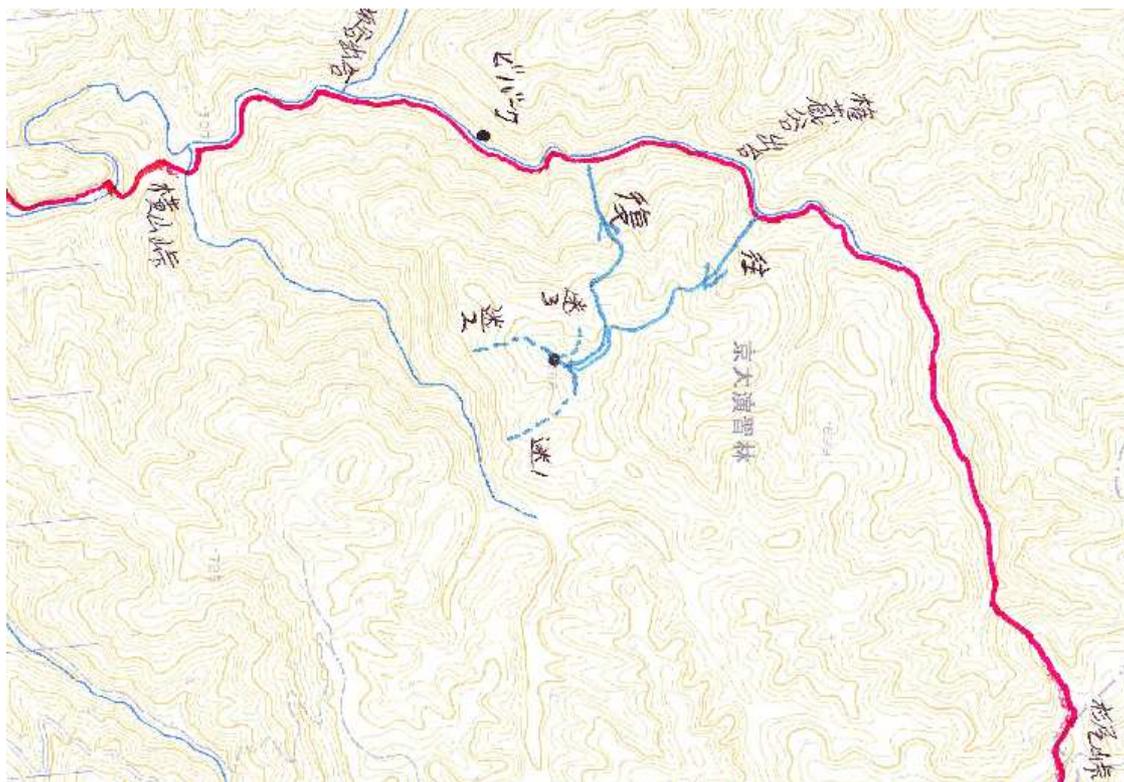
横山峠の登り口は、徒渉後すぐの左手の小道から。

櫃倉谷廻行は沢靴か長靴が必要。

報告者氏名 坂口 文雄

2015年7月7日

道迷い



榎倉谷



トロッコ道

